

平成29年度第1回沼田市総合教育会議会議録

- 1 開催日
平成29年9月28日（木）
- 2 場所
中央公民館学習相談室
- 3 出席者
沼田市長 横山 公一
沼田市教育委員会
教育長 大竹 孝夫
委員 笹川 一良
委員 保坂 充勇
委員 星野 貴昭
委員 飯田富美子
事務局
高山正教育部長、藤井隆庶務課長、竹之内篤学校教育課長、平井通晃社会教育課長、川田正樹スポーツ振興課長、鶴淵佳秀庶務課長補佐
- 4 開会 午後2時47分
- 5 市長あいさつ
- 6 会議録署名人の指名
市長が保坂委員を指名
- 7 意見交換
議長：横田市長
テーマ
(1) 歴史資料館設置について
○教育部長より歴史資料館検討の概要や課題等について説明

◎主な意見

飯田委員)
・沼田城関連に人気が集まると思うので、土器石器以外の沼田の城下町に関するものを展示した方が良いと思う。
市長)
・沼田の歴史の中で、真田時代の資料が欠落している。土岐氏に関する資料はあるが、その時代によってあるものとなないものがあるので、その辺りが課題である。
保坂委員)
・上田や松代から真田の資料を借りるのも一つの方法ではないか。

飯田委員)

- ・クローン文化財の展覧会という手法もあると思う。

保坂委員)

- ・市民の所有する歴史資料があるのではないかと思う。それらの活用はどう考えているか。

市長)

- ・現在、蘇るアーティスト事業「北村明道展覧会」を開催しているが、関係者から作品を借りて展示しているものもある。同様に応じてくれるものがあれば協力をお願いしたいと考えている。

笹川委員)

- ・各地区にある文化財で資料館に設置できないものは、どのように紹介するのか。

教育部長)

- ・パネル展示も一つの方法であるし、歴史資料館に学芸員が配置されれば各地区への出前講座や現地見学会も考えられる。歴史資料館設置による教育普及活動も想定している。

星野委員)

- ・歴史資料館への来館者確保のために観光農園や温泉とのパッケージツアーを検討してはどうか。その際、観光バス等の大型バス駐車場が必要となるが。

市長)

- ・教育部だけではなく、観光部門にも検討を指示したい。

(2) 給食の安全性について

○庶務課長より学校給食事業の概要や課題等について説明

◎主な意見

保坂委員)

- ・沼田市の残食率はどうなっているのか。

庶務課長)

- ・2015年学校給食栄養報告によると、沼田市全体で4.84%であった。全国平均は6.9%であった。

保坂委員)

- ・食中毒等への対策として乳酸菌飲料の提供は考えているのか。

庶務課長)

- ・栄養教諭に伝えるとともに給食の代表者会議等で検討したい。

飯田委員)

- ・給食センターでの食材の受取りの際の衛生面の配慮はなされているのか。

庶務課長)

- ・沼田給食センターでは、エアカーテンにより外部と遮断した中で食材の受取りをするとともに、包装材等の処理も適切に行っている。

笹川委員)

- ・給食運搬車は現在何台運行していて、どのような装備があるのか。

庶務課長)

- ・利根を含めて7台運行しており、冷凍車のような装備はない。

星野委員)

- ・新しい給食センターができた場合、現在、働いている人はどうなるのか。

庶務課長)

- ・沼田給食センターは調理を委託しており、白沢・利根は直営で調理業務を行っている。白沢・利根については異動の検討対象になるが、沼田については、検討段階だが調理業務は委託する予定であるので、業者の対応次第となる。

飯田委員)

- ・白沢小中学校は、お箸等の食器具セットが個人持ちではないが、新しい給食センターができた場合どうなるのか。

庶務課長)

- ・沼田給食センター・利根調理場管内の学校と同様に食器具セットを購入していただく予定である。

8 閉会 午後3時26分